

CS 教師のための説教セミナーPart2

2026年2月22日 19:00～21:00

2月23日 10:00～15:00

三ツ境キリスト教会

はじめに

WORK

1. 自分の心に届いた説教者たちは誰か？

2. なぜ届いたのか？

前回の学びの振り返り

I. 説教のあらわす聖書の言葉と「説教」の諸要素

- ① 「情熱」「感動」、「熱心に語る」 ケリュッソー、ユーアンゲリゾー
ケリュッソー「宣べ伝える」 布告。伝令。競売人が大声で呼ばれる。
ユーアンゲリゾー「良い知らせをもたらす」戦争の勝利、王子の誕生など。
- ② 「わかりやすさ」 ディダスコー
ディダスコー「教える」手を差し出し、受け取ること。誰かに何かを受け取らせる行為。
- ③ 「慰め」「励まし」 パラカレオー
パラカレオー「勧める」「呼び入れる」「求める」 励ましを兼ね備えた慰めること。
- ④ キリストの証人として「届く」説教者論 マルテュレオー
マルテュレオー証言する。裁判の席で証人が過去の出来事に対する証拠を申し述べる行為。

1. 情熱の問題 ケリュッソー ユーアンゲリゾー、

- ・説教準備の机で生まれてくる感情
- ・神の言葉への感動がもたらすもの
- ・情熱の表現について
- ・発声、声の大きさ、

2. わかりやすさ ディダスコーとしての説教

- ・わかる説教とはなにか
- ・説教の構成力の向上
- ・神学的に考える思索力を磨くことの重要性

3. 黙想の力 パラカレオーの言葉として

- ・牧会する人たちとのコンタクト
- ・説教黙想とはなにか
- ・時間を過ごすこと、かけた言葉を説教の言葉にしていくこと

4. 魂に配慮する「説教者」 説教者論、マルテュレオーの証言者として

- ・自分に届いた説教者たち 憧れの説教者
- ・聖書と説教に真剣であること、本気であること 「聖書の朗読と勧めと教えに専念すること」
- ・敬虔であること 純潔であること 「言葉、行動、愛、信仰、純潔に模範となること」
- ・説教者と比較 召命感に立つことと、失敗を重ねていくことへの勇気。

II.CS 説教の準備の実際

① 聖書を読む

説教当日の1～2週間前に日本語聖書を読み、子どもたちに先んじて味わう、よく触る。

② 説教作成の作業に入る。

聖書箇所貼り付け、自分の気づきを書き記していく。気になる言葉をあげていく。

③ デボーションな自分のための黙想を行う。自分にとって何が語られているかを思い巡らす。

※自分なりの教えられたことを、1節ごとに書き記していく。

④ 聖書の釈義 個々のテキストの意味を取る作業 注解書を読む

※注解書からの発見(時代背景、言語の意味)、他の説教者の発見、気づきからも、教えられたことをメモをしていく。

⑤ 聴衆の釈義 第二次黙想 会衆を釈義する。

1. 聴衆の生きている生活、環境、人生や祈りの課題をじっと考える

自分に分かち合ってくれた子どもたちの言葉、聖書研究内で分かち合われた言葉を思い起こす。

2. このテキストにおける「喜びの知らせユーアンゲリオン」「教えディダスコ」「慰めパラカレオー」「生き方マルテュレオー」とは何か。

⑥ アウトラインをつくる 自分は「要は何を語りたいのか」というアウトラインを作成する。

この際、聖書テキストと説教の順序が入れ替わっていくことも起こる。脳内で自分の説教原稿のプロット事前に終えるかどうかは、その説教がわかりやすく、聴衆の脳内で再構成できるかが決まってくる。

⑦ 説教の完全原稿の作成 書き始めたものは、最後まで一旦書き上げる。

⑧ 何度も読み直し、削る作業を行う。

文章を整え、余計は繰り返し、意味のない言い回し、自分の言葉になっていない言葉を削っていく。

※ 説教分析 ハイデルベルグ方式

1. 聖書の言葉、2. 説教者の言葉、3. 会衆の言葉、4. 神の言葉

⑨ 説教を寝かせる 一旦作った説教から離れて、半日から1日何もしない。

⑩ 実際に言葉に出して、練習をする。

自分の語り口に、説教の癖、必ず余計な言い回しが存在する。説教を必ず録音することが大切。

⑪ 説教直前の祈り

あとは聖霊なる神が働かれることを信じ、神様に委ねる。早めに寝る。

⑫ 説教を語る

⑬ 説教後の出来事

必ず録音し、自分の説教をその日か翌日には聞く習慣をつける。そして作成した説教に説教後の気づきを必ず手を入れて、次の説教に備える。

質疑応答

Ⅲ.魂に配慮する説教黙想の実際

説教黙想とはなにか

第2の釈義としての聴衆

◆聖書箇所ヨハネ5：1-14

① 自分の託されている群れに「魂に届く言葉」がどこにあるか？

節

節

節

② 彼らの実際の生活のリアルとどのようにリンクするのか

→

→

③ 子どもたちの人生にどんな良きしらせをもたらすのか、
どのような慰めと励まし生まれ、キリストとどこで出会うことができるのか。
自分の生き方と証はどのようにすることが出来るのか。
子どもたちがどのような人生の変化が生まれるのか。

④ アウトラインの構想

IV.魂に届く説教演習

【説教演習のポイント】

よき知らせであったか。わかりやすかったか。慰め、励ましがあったか。生き方に変化をもたらしたか。）

必ず建てあげる言葉を言う。

① 良かったポイント

② もっとこうしたら良くなるポイントはなにか